

## 赤城（黒檜山 1828m）・榛名（掃部ヶ山 1449m）登山

日時 2013年5月31日～6月1日

参加 石川誠他1名

行動 5/31日（金）晴

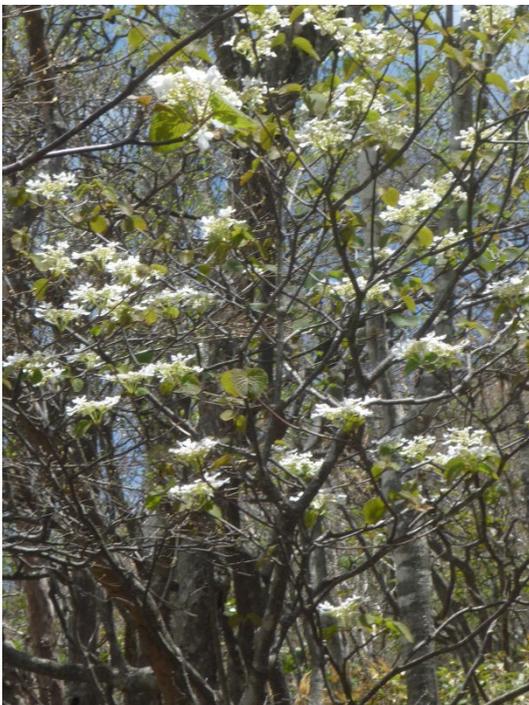
横須賀5時発練馬から関越道で前橋ICで降り赤城公園ビジターセンター9時着  
黒檜山登山口10:05発-12:00着 黒檜山12:15発-13:00着駒ヶ岳13:10発-  
駒ヶ岳登山口13:50着 覚満淵散策-駐車場14:45発-榛名吾妻荘16:30着



「ツツジ越に見る赤城大沼」

駐車場から赤城大沼の畔（車道）を歩き、赤城神社の前を通り、黒檜山登山口に着く。

此処からは安山岩の大きな石を越えながら急な登山道を進む。ミズナラの林の中を進むとニイハルゼミの鳴き声が聞こえ、まさに蝉しぐれといった処で、木々の間にはシロヤシオツツジ（五葉ツツジ）の白い花が所々に咲いている。薄いピンクのツツジモも咲いていた。



「シロヤシオツツジ」

大神の祠を巡り、山の安全を祈願して回っていた。

頂上で軽く食事した後、大ダルミを過ぎて駒ヶ岳への稜線を辿る。稜線にはレンゲツツジが点々と咲いていてのんびりとした稜線漫步だ。



「黒檜岳から駒ヶ岳への指導標」

途中途中で振り返ると赤城大沼の湖水が輝き、遙か下に赤城神社の鳥居が見える。

1時間半ほどで稜線上に達し、左に折れると黒檜山の頂上に出る。



「赤城山の生成」

生憎頂上からは春霞で、谷川岳や皇海山、日光白根山などが見えるとのことだったが、はるか遠くにそれと思しき山の形が見えるばかりであった。

明日は赤城山の開山式であろうか二人の神主さん二人がほら貝

を吹きながら稜線上にある遠黒檜



「まさに新緑の季節」

駒ヶ岳の頂上はこじんまりとした場所で、周辺の山々を俯瞰した後先に進む。

駒ヶ岳からは緩やかな稜線を進み、右に折れて狭くて細い急な鉄製階段を一気に駒ヶ岳登山口へと下る。途中覚満淵という高層湿原に寄ったが、まだ花は咲いておらず、水鳥が一羽寂しげに漂っていた。



駐車場からもと来た道を途中まで戻って渋川を抜けて伊香保温泉への道を辿りつづら折りの道を榛名湖畔に立つ国民宿舎榛名吾妻荘に着く。途中の道路沿いには綺麗にツツジが咲き誇っていた。

### 「道路沿いのツツジ」

6 / 1日 (土) 晴

宿舎 8 : 40 発 - 9 : 05 硯岩 9 : 10 - 10 : 00 掃部岳 10 : 05 - 西峰、耳岩 - 11 : 20 杖ノ神峠 11 : 40 - 宿舎 12 : 40 着



「硯岩からの榛名湖」

宿の前には湖畔越しに榛名富士が聳えていて美しい。登山口は宿のすぐ北側にある。

登山道はカラマツやカエデの木々の中にあって、緑が陽の光に映



「掃部岳への指導標」

えて美しく輝いている。しばらく登ると右に

硯岩への分岐に出る。岩からは目の前に榛名富士と榛名湖が見え湖を囲む外輪山の山々を見ることが出来る。ここの岩場の東側は一気に切れ落ちていて注意が必要だ。ここから分岐へと引き返し、掃部山への緩やかな道を辿る。

頂上からは杏ヶ岳など外輪山の山々を望むことが出来る。この先西峰を経由し耳岩の下を迂回して杖ノ神の頭に向かう。耳岩も南側が一気に切れ落ち絶壁となっている。

岩登りでもするのであろうか頭に埋め込みボルトが2本打たれていた。

杖の神の頭から南側に急坂を一気に下る、この出だしは道も細く急坂で躓けば一気に



「色とりどりのツツジ」



「耳岩の岩峰」

落ちてしまいそうなところで注意が必要だ。しばらくしてササとミズナラの林を抜けると杖の神峠の林道に出る。ここからのんびり1時間程林道を辿り湖畔の宿に戻った。

宿で入浴し、昼食を食べて一路伊香保温泉街を抜けて関越経由元来た道を帰宅する。



「サツキかつツジか花盛り」